

第6回庁舎建替検討委員会記録

日時 令和2年8月19日（水）午後6時00分～午後7時10分
場所 市役所大会議室
出席者 別紙 出席者名簿のとおり

1. 開会

2. 議事

【報告事項】

(1) 庁舎整備推進ワーキンググループ報告書について

(事務局)

- 安心・安全な庁舎検討ワーキンググループ報告書
 - 窓口環境・サービス検討ワーキンググループ報告書
 - 執務環境（改善）検討ワーキンググループ報告書
- に基づき説明。

(A委員)

昭和6年に竣工された根室公会堂について、私の手元の資料では、ドアのサイズの高さが2.1m、横が0.9m、厚さが0.45m程度と、重厚感、格調感のあるものであった。このような根室市の歴史的な建物を新庁舎においても参考にさせていただきたい。

【協議事項】

(1) 駐車場の配置計画について

(事務局)

資料1に基づき説明。

(A委員)

新庁舎で必要となる駐車台数は240台とのことであるが、現在の駐車場などの植栽はどのようになるのか。A案でもC案でもどちらでも良いが、運動公園からときわ台公園、明治公園へと緑が繋がるように、庁舎も「木の繁るところ（ニムオロ）」をコンセプトとして形を作り、1つの観光資源となるよう、駐車場などへ十分配慮していただきたい。

また、有事の際には、そのような緑のために確保した芝生の上を駐車場として活用したり、民間事業者が保有している近隣の駐車場も利用できるように検討する必要があると思う。

(事務局)

植栽については、できる限り残す方向で計画を行っており、国道沿いのチシマザクラは、現在の位置にそのまま残す予定である。また、庁舎正面の駐車場内にあるサクラやシコタンマツについては、同じ場所に残すのは難しいので、樹木医の判断を仰ぎながら、明治公園などの適切な場所への移植を検討している。ハマナスなど一部の木については伐採せざるを得ないものもあると思うが、なるべく残すように進めていきたいと考えている。

(A委員)

今後の市制100年など、行事の際にモニュメントを設置するスペースについても事前に確保する必要があると考える。また、1%フォー・アートについても、事務局より資料を各委員へ配布するなど、委員のみなさまにも参考にさせていただきたい。

(C委員)

駐車場C案は、A・B案の折衷案というところであるが、駐車場の台数は多い方が良いと感じている。

(D委員)

予算を考えたうえで、A案に戻るということは考えられないのか。

(事務局)

A案については、議会においても、北側の擁壁に近づきすぎていることや、人工地盤が大きすぎるなど、やりすぎではという意見が出されたところである。

(2) 根室市新庁舎建設基本計画（素案）における

「新庁舎に必要な機能」について

(事務局)

資料2に基づき説明。

(E委員)

駐車場を含め、防犯カメラなどの設置が必要になると思うが、防犯対策についてはどのようにしているのか。

(事務局)

今回の協議内容には含まれていないが、セキュリティ関係については今後の素案の内容となっているため、その際に説明させていただきたい。

(H委員)

災害時の非常用発電についての記載があったが、発電を行うスペースはどこになるのか。

(事務局)

新庁舎の地下において発電機等を配置するスペースを確保する予定である。

(A委員)

災害時の備蓄について、旧庁舎の地下を利用する計画とのことであるが、廃校となった小学校などの活用も併せて、市として何%程度の備蓄をするのか。

(事務局)

基本的には市内の各避難所に備蓄をするものであり、庁舎には災害対応職員や一時避難者に対応した備蓄を確保することとなる。パーセンテージを出すことは難しいが、各避難所の備蓄庫が開かない、使えないなどの場合を想定した際にも対応できるような備蓄の確保も検討する必要があるだろう。

(I委員)

食堂について、利用する職員は大体100名程度という話を聞いているが、それくらいの利用人数なのか。

(事務局)

自宅に帰り昼食をとるなど、さまざまな職員がいるため、実際にはそこまで多くない。

(I委員)

今回の食堂は4階で展望を兼ねたものということで、職員だけではなく一般市民も喫茶店などのイメージで多く利用されると思うが、どれくらいの人数が利用できるものなのか。

(事務局)

現庁舎の食堂においては、席数が17卓×4＝68席となっており、新庁舎においても同数程度を予定している。また、現在の席は少し手狭なので、もう少しゆとりを持った配置を計画したい。

(C委員)

ワーキンググループの報告書において、自席で昼食をとらないような休憩室などのスペースを確保されるということだったが、これは食堂とイコールにな

るものか。

(事務局)

職員が昼食とる休憩スペースについては、全く別の物であり、市民が入らないようなスペースを想定している。また、休憩室とまではいかななくても、背パネルなどを設置した、市民の目に触れないような簡易なスペースなどの活用も考えている。

(F 委員)

窓口の案内看板について、現在は課の名称を記載しているが、普段市役所を利用しない方であれば、目的の手続きを行う窓口が名称だけではわからないと思う。どういった業務を行っているか、目的のものを記載する方法など市で統一を行い、わかりやすい案内を行ってほしい。

また、市民がいかに庁舎を活用できるかということについては、活動を行いたいという思いを持った市民団体が気軽に庁舎の会議室などを借り、活動を行えるようになると良いのではないか。庁舎は防災施設ということで、マルチビジョンの導入などが行われるのかと思うが、そういったハイスペックなものを借りたいという団体もあると思う。防災対応施設として、共有をするということにも線引きはあると思うが、ぜひ検討していただきたい。

(A 委員)

図書館を例にとると、自分のいる位置から目的の本を探することができるなど、サイン計画は大変重要である。市が毎月発行している広報と連携し、庁舎の案内やお知らせを行うことで、市民にもわかりやすい庁舎となるのではないか。また、併せて、(仮称)市民交流サロンでは姉妹都市の黒部市や北方領土との提携なども行い、市庁舎の広報活動を行うべきである。

(B 委員)

災害対応と平常時の機能について、建築計画のゾーニングに沿った内容になってしまっているという印象を受けた。有事の際に災害対応面が機能がすれば良いので、通常時の機能とオーバーラップしても良いのではないか。このまま必要な機能を挙げていくのであれば、面積だけが増えていくのではないかとと思う。

(事務局)

庁舎の面積については、平常時と災害時の使い分けをどう行っていくかというところを現在検討しているので、次回の委員会において説明させていただきたい。

(G委員)

わかりやすい案内については、さきほどのお話のとおりであり、岩内町の写真がとても良いと感じた。自分の親も高齢で、ただでさえ目的の窓口がわからないところに、庁舎が新しくなるのであれば尚更窓口はわからなくなってしまう。例えば窓口が色分けがされていれば、手続きするのは〇〇色の窓口だよ、と教えることができるので、わかりやすくして良いと思う。

(K委員)

情報発信スペースについて、1階の特産品を展示しているコーナーが何年も更新されていないようだったので、新しくなるのであればしっかりと活用してほしいと感じた。

(L委員)

待合のスペースについては、p.6の四万十市のものや、窓口のプライバシー配慮としてはp.7の藤沢市の背パネルを設置するようなイメージされているのか。

(事務局)

現状の待合スペースや通路幅は狭いが、新庁舎では5 m程度の通路幅を確保しており、車いすの方なども十分通れる幅を計画している。背パネルについても、全てにおいてできるかはわからないが、プライバシーへの配慮を行い、窓口へ設置することを検討している。

(C委員)

以前にA委員からも意見があったとおり、天井を高くすることなどで広く感じさせるなどの工夫ができると思う。

(D委員)

ワーキンググループからの提案については、これは必要というものと、あったらいいなというものの振り分けをする必要があると思う。スペースの共有など、限られたものを有効活用できると良い。

(事務局)

仰るとおり、さまざまな意見については今後精査を行う必要がある。

(3) その他

(事務局)

先日開催された総務常任委員会において、素案に対し文言や構成についてさ

さまざまな意見が出されたところであるので、この場で情報共有を行いたい。

- ・（仮称）市民交流サロンの休日・時間外の市民開放について、（仮称）ネムロふるさとギャラリーも同じく開放するべきである
- ・多目的トイレについては車いすなど便座が使えない方にも対応できるよう、ユニバーサルシート（大人用のベッド）を設置する
- ・タクシーを利用する方の乗降場所（タクシースポット）の検討
- ・災害時のブラックアウトを想定した、充電サービスのスポットを用意する
- ・階段は上り、下りで安全に通行ができるように色分けなどを行い、エリアを明確に分ける

など、その他の意見もあるが、このような意見が議会から出されたところであ

3. その他

（事務局）

次回会議については、9月18日（金）を予定している。開催についてはまた改めて案内をさせていただくので、よろしくお願いいたします。

4. 閉会